



ワガヤネヤガワMAP 香里園編

ほっ こうりえん を歩こう。

香里園

wagayaneyagawa map
hokkorien walkers

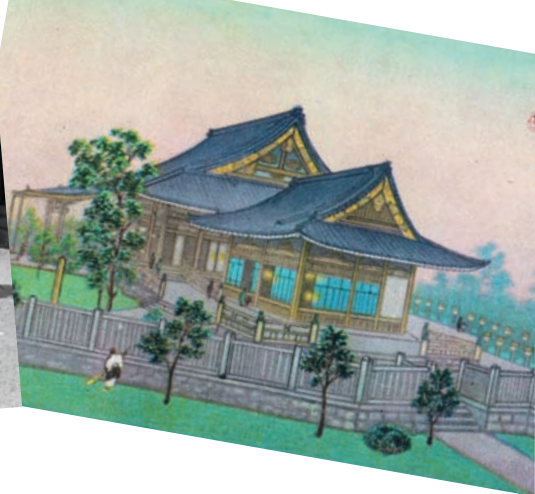


香里園





昭和31年頃の香里園駅(寝屋川市提供)



香里園

香りの里の園。

実に美しい地名ではないか。香しく、花の薫りが満たされている。そんなイメージがする。

京阪電車の香里園駅から山手の方に足を向けると、手入れの行き届いた庭を持つ屋敷地のなかに、戦前に分譲されたものだろうか、瀟洒な木造住宅を見受けることができる。やがて校門越しに、聖母女学院の白亜の学舎が見える。フランク・ロイド・ライトの弟子である著名な建築家レーモンドが設計したモダンイズム建築の傑作だ。

活気あふれる駅前とは、まったく異なる雰囲気だ。穏やかな時間が流れている。モダンイズムが喧伝された大正時代から昭和初期、京阪沿線にあっても優れて洗練された郊外生活が営まれてきたことを、香里園の街のたたずまいに感じることができる。

世にも美しい

歴史をひもといてみよう。明治43年(1910)、京阪電車は開通にあわせて、応神・仁徳天皇の時代にさかのぼる由緒ある友呂岐村にあつて、「郡」と呼ばれた丘陵地帯を遊園地として開発した。その際、音は「こおり」のままに、「郡」の文字を捨てて「香里」をあてた。

名は体を表す。花にあふれる遊園は、文字通り「香しい里」となった。鵜飼の実演や、陳列館での菊人形興行、地元ゆかりのある相撲の元祖・野見宿禰にちなむ大相撲大会、野球大会、模型飛行機大会などのイベントが実施された。しかし大正になると遊園地事業は、早々に近傍の枚方に移される。

これを受けるかたちで、昭和初期にかけて、香里園の丘陵地は郊外住宅地へと変貌する。地元の竹井工務店などが先鞭をつけ、あとを追って京阪電鉄地所課目が遊園の跡地を宅地として売り出した。





Koryu Yuenchi. 口入 地園遊里香



名の街。

「香里よいとこ 一度はおいで 岡のうえにも 花が咲くよ」
 「春の桜は近郊第一の称あり、秋の月又捨てがたく、特に時鳥に名ある菅相塚を初め付近には菅公の遺跡多く…」
 「南は遥かに生駒、金剛の連峰を一望の内に収め西は展開して摂河の沃野を瞰下し、高燥にして又眺望絶佳実に都人士の理想的住宅地」
 宅地を販売する際に使用された宣伝文句である。煤煙で汚れた大阪から脱出した人たちが、環境と眺望に優れた、香里園という「健康地」に移り住んだ。さらに住宅地内の一角に、学校や成田山別院を誘致、またタキイ種苗がチューリップ園を経営した。

かくして香里園は、今日につながる風致と街のブランド力を獲得する。今日にあっても香里園は、京阪沿線だけではなく関西を代表する「理想的住宅地」のひとつとして著名だ。1世紀をかけて熟成されたそのブランド・イメージは、私たちが「ワガヤ」と想う寝屋川市の新たなブランド構築を牽引するものだ。

そこで私たちは香里園の魅力を、できるだけ多くの人に伝えたいという想いから、このガイドマップを企画した。制作にあたっては、大学生や地域の皆さんに協力をお願いした。私たちは、香里園で暮らし、学び、そして楽しんでいる人たちの笑顔を、いつも思い浮かべていた。市民と行政の協働による手づくりの冊子である。この小冊子を契機として、香里園の素晴らしさを再発見していただければ幸いである。

橋爪紳也

大阪府立大学21世紀科学機構教授／工学博士
 寝屋川市ブランド戦略アドバイザー

昭和39年の香里園商店街の様子(寝屋川市提供)





ワガヤネヤガワMAP

ほっこうりえんを歩こう。



※この地図は2011年2月現在のものです。



策 散 園 里 香

香里園随一の名所、
成田山不動尊をゆく。



昭和9年(1934)、成田山不動尊の建立をきっかけに、街は一気に変わった。人が住み、店が集まり、参拝客も今年年間200万人を超える地元が誇るシンボルとなった。

成田山の歴史を ひもとく。

大阪の地と千葉県の大本山成田山新勝寺との縁は古く、承平5年(935)にさかのぼる。関東で起こった平将門の乱を鎮めるため、大阪の港から不動明王像を運んで祈祷を行ったところ、見事に乱は平定され、それを機に成田山新勝寺が誕生した。

以来、関西でもその信仰は続いたものの、関西には別院が無く、信徒たちは千葉県の本山までお参りに行っていた。しかし昭和2年(1927)、当時の大阪府知事の実弟である田辺真弘氏が、関西の熱心な信徒を代表して本山に関西への別院建立を願ひ出る。また同じ頃、京阪電車は香里の地で積極的な開発を企画していたものの、思うように開発は進まなかった。これには香里園が大阪市内から見て鬼門、京都からは裏鬼門にあたることが人心に影響しているとも言われ、京阪電車は敷地と堂宇を寄進することを決定。こうして信徒待望の大阪別院が建立されることとなった。

その後は発展の一途をたどり、中でも節分



平日はのんびりした雲田気。地元の人が集まる。



春は桜の名所に。香里園には桜の木が多い。



たくさんの人で賑わう節分祭。



うれし 懐かし

祭は、古くはプロレスラーの力道山や女優の山本富士子など各界の著名人が招かれ、近年ではNHKの朝の連続ドラマ出演者が豆をまくなど、関西でも「節分」といえば成田山と言われるほどの一大行事となった。さらに幼稚園の創立や交通安全祈願など、世間が望むことに柔軟に対応しながら今日に至っている。

交通安全祈願のきっかけ。

お堂の前に車がズバリ。成田山では現在、年間約20万台もの車両が訪れ、交通安全からの救済を祈念している。関西で交通安全祈願と言えば成田山だが、ではなぜご利益ありとされるようになったのだろうか。

「第二次世界大戦終戦直後に、原子爆弾が投下された広島に疎開していた息子さんの安否を車で確かめに行こうとしたご両親が「途中で故障しないよう祈ってほしい」と来られたのが最初と伝えられています。当時は車を持つ人は少なく、事故より道中で故障することの方が不安だったんでしょう」と広報担当の加藤義尚さん。車の性能が向上してからは、故障より事故に遭わないようにとの願いが増え、昭和24年（1949）に日本初の自動車交通安全祈願専用の仮堂を設置。その後には交通安全祈願専用の祈祷殿も建てられた。

こうした逸話のほか、成田山の本尊を開眼した弘法大師が唐から帰国する際、航海安全のために授かった霊木に不動明王が彫られていたことも、交通安全祈願のための不動尊となったそもその由来と言えるだろう。

よろづ願いごと承ります。

さすがは成田山の関西の本拠。交通安全以外にも、御利益はたくさんある。



成田山不動尊

正式名称を成田山大阪別院明王院。開創以来、交通安全のほか、家族の安全や子どもの健やかな成長など、人々の様々な願いを柔軟な姿勢で受け入れている。●成田西町10-1 ☎072-833-8881



お守りリス

成田山へ向かう坂道の途中にある案内表示にリスを発見。リスには嵐を予知する能力があるという説もあり、まさに参道をゆく人たちを守るリスと言えよう。



八十八か所

霊場名が書かれた88の小さなお社がずらり横一列に並び、ここで四国八十八か所の霊場巡りができるため、熱心にお参りする人の姿も見られる。



奥之院

北山門をくぐり、すぐ右手を進むと奥之院がある。暗闇の中、十二支になぞらえた様子がろうそくに灯されている光景は荘厳で神秘的。（参拝は15時まで）



笑魂塚

本堂に向かう石段左手側に鎮座する笑魂塚では、「笑いの道」発展のために尽くした者の冥福を祈るとともに、芸能上達を祈願する法要を行う笑魂まつりが開かれる。

聖母女学院中学校・高等学校教頭

西村佳也さん

早朝の香里園駅前、多くの女学生が坂を上っていく。上った先にあるのは聖母女学院。元々は玉造にあったが、校祖レバランド・メールは永住の地として府内の高燥な地を探していた。ある時、京阪電車の紹介で香里に視察に訪れると、丘の上からの眺望に魅了された。西は六甲、東は生駒の山々に囲まれ、淀川の流れも見渡せた。豊かな自然が子供たちの人間性を育んでくれると確信したんでしょね」と西村佳也教頭は校祖の思いを振り返る。こうして昭和7年（1932）、聖母女学院は香里園に校舎を移すこととなった。

モダンな建築や桜並木が美しい敷地内の様子を地元の人とも共有したいという思いから、近年は花見の会や「プチ・セアンス」と呼ばれるクリスマスの集いを一般開放。地元を愛し愛される関係が紡がれている。

聖母女学院

優美なアーチを多用した美しい校舎は香里園のハイソなイメージの象徴。フランク・ロイド・ライトの弟子、アントニン・レーモンドの設計で、国の登録文化財にも指定されている。●美井町18-10 ☎072-831-1381



この街の由来を聞きにゆこう。

香里カトリック教会

1970年頃には聖堂の老朽化が進み、当時の神父であった平松郡太郎氏の元、建設資金を集めるためにバザーが開かれた。バザーは今日まで続き、地域を巻き込む一大行事に。●東香里園町31-3 ☎072-834-3800



白い鐘塔は、「今のうちに高い建物がない当時の香里では、どこからでも見える香里のシンボルとして住民に愛されてきた」と信徒の石橋整一さん（右）。現在の聖堂は建て替えられたものだが、レリーフや塔の鐘は初代司祭であるペトロ・マルモニエ神父がフランスから取り寄せたもので、当時の面影を色濃く残す。同時期に建てられた同じカトリックの聖母女学院とは現在まで密接な関係を維持しており、信徒には卒業生も多いそう。バザーも開催されるなど地域とのつながりは深い。

香里カトリック教会 信徒 石橋整一さん 大西正晴さん

沿線開発が進んだ香里には昭和6年（1931）に急行が停車するよう

に。ますますの発展が期待されたその年に香里カトリック教会は建てられた。聖堂は、急勾配の屋根や司教の冠の形を模したステンドグラスなど、南欧風のゴシック様式であり、中でも高く

バザーは地域の恒例行事です



同志社香里中学校・高等学校教頭 瀧英次さん

同志社香里がこの地に生まれたのは昭和26年（1951）。かつてこの場所には大阪偕行社という陸軍士官を養成するための学校があったが、後年になり同志社に吸収合併された。同志社が香里学園からの合併交渉を受け入れた背景には、校祖・新島襄の初志が関係している。同志社大学の前身である英学校は京都に建てられましたが、開校前（明治時代）に淀川流域へ視察に訪れるなど、新島襄は大阪での設立を望んでいたんですと瀧英次教頭。しかし当時の知事の反対に合い断念。実に校祖没後60年以上の歳月を経て、悲願の地に誕生したのだった。

同志社香里では、毎年「大同窓祭」と呼ばれるイベントを行うほどに現役生や卒業生の結びつきや絆は強い。校名に香里の名があることから、街の人からの愛校心も強い。

大阪は校祖の悲願の場所



同志社香里中学校・高等学校

英語教育に力を入れるなど国際色豊かで自由な校風。同志社のお家芸であるラグビーでは、強固なスクラムを武器に毎年シーダの常連校だ。●三井南町15-1 ☎072-831-0285





“教室”は街にある。



関西では唯一、宝生流の定期公演を行っているほか、春と秋にはなるべく値段を抑え、多くの人に能を知ってもらうための普及公演も開催している。普及活動に力を入れている理由を、能楽師の辰巳満次郎さんは「文化は国にとつて最大の切り札。だからこそ今の若い世代に見せ、繋げて行かなければならない」と語る。

能楽教室も開いており、受講者は「下は2歳から上は90歳まで」と老若男女幅広い。香里園付近の小・中学校の生徒を招いてワークショップも開催するなど、能文化振興の発信基地としての役割を担っている。



森邸は明治28年(1895)ごろに建てられた木造瓦葺き平屋建ての邸宅。木の芯材だけを使った贅沢な廊下板や、数奇屋風の意匠、回廊型の廊下など、細部までこだわりの庭に独立して建てられている洋館は、渡欧した家人がイタリアやスペインなどの建築に刺激を受けて大正時代に建てられたもので、南欧の素材が使われている。

流行や異文化をいち早く取り入れるモダンな精神は今に受け継がれているのか、現在では不定期ながらも市役所主催の街歩きツアーやギャラリー、音楽会などの様々な催しの際に開放されている。



香里能楽堂

能の定期公演のほか謡と仕舞のお稽古、能楽体験などを行い、600年以上の歴史を持つ能楽を現代に伝える。舞踊・琴・三味線・バンド演奏にも使用される。

●香里本通町1-5 ☎072-831-0415



森邸

香里園の中でも1、2を争うほど歴史ある邸宅で、立派な門や瀟洒な造りの外観からして圧倒される。公開される機会は不定期につき、地元イベント情報をこまめにチェックしよう。●木屋町10-18



東と西のトモロギ神社。



頼呂岐神社

境内奥の「寄進の鳥居」は赤穂浪士のうちの一人の子孫が寄進したと言われている。仇討ち事件の罪で縁者は捕らえられたが、その後赦免されてこの地に移り住んだそうだ。●木屋町10-25

香里園には東の友呂岐神社と西の頼呂岐神社、二つのトモロギ神社がある。「友呂岐神社御由緒」によると「友呂岐」とは頼呂岐とも書き」とあることから、どうやら友呂岐と頼呂岐は同じ言葉のようだ。また「頼」は天皇の姿を、「呂岐」は神を表す語らしく、このあたりの地域は古代から皇室と関わりの深い土地だったようだ。

頼呂岐神社は貞観3年(861)に勧請され、祭神は天照大神・豊受大神・住吉大神ほか。友呂岐神社はもともと八幡神社という名前だったが、明治43年(1910)に他地域の3つの神社を合祀し、現在の社名に改められたようだ。祭神も応神天皇・菅原道真などであり、頼呂岐神社とは異なる。実際に訪れてみると祭神や伝承、行事、社殿の造りなど、東西のトモロギ神社の違いに驚くことだろう。



友呂岐神社

成人の日に行われる「お弓式」が有名。昔は村役有力者の子弟が紋付・袴姿で弓を引いた。現在では地元から選ばれた20歳の青年二人が引き、天候や吉凶を占う。●香里本通町19-13

願いが叶う!?

パワースポットをゆく

交通安全



Power spot.1 駅前の榎の木

香里園駅東側の道路沿いに1本の大きな榎の木が植わっている。街のど真ん中にも関わらず、樹齢を計りかねるほどの大きさで、初めて見る人は必ず驚く。強く根を張りどっしりと構えた様子は、通学の際に毎日横断歩道を渡る同志社香里や聖母女学院の生徒たちを見守ってくれているようだ。けっこうな交通量にもかかわらず、元気に街を見下ろすその姿。香里園に来たら、まずはここで交通安全の祈願をしよう。



五穀豊穡

Power spot.2

茨田堤碑 まんだのつみひ

緑に囲まれ淀川の堤防の側にひっそりと佇む茨田堤碑は、昭和49年(1974)に淀川百年記念事業の一環として建てられた。茨田堤は仁徳天皇によるわが国初の土木工事とされる。日本書紀に当時の様子が記録されているが、そこに登場する「河伯」はわが国最初の河童という説も。日本治水の始まりとも言える記念すべき存在に、つい五穀豊穡を祈りたくなってしまう。

病氣平穩

Power spot.3 ルルドの洞窟

聖母女学院の正門をくぐって、すぐ右手に「ルルドの洞窟」と呼ばれる岩がある。ルルドとは南フランスの街の名前。その洞窟でベルナデッタという少女の前に聖母マリアが現れた、湧き出す「聖なる水」で病氣や身体の障害が治った…などの言い伝えがあることから、カトリック最大の巡礼地のひとつになっている場所だ。聖母女学院にあるのはそれを模して作られたもので、中にはマリアの像も安置されている。



心願成就



Power spot.5

大阪仏舎利塔

おおさかぶつしやりとう

香里丘陵の高みにあるインドを思わせる塔。市内のほぼ全ての場所から見る事ができるほどに高くそびえ建っている。仏舎利とは釈迦の遺骨で、釈迦の教えを信仰していたインドの10人の王が遺骨を分かち合って祀るた

めに建てたのが仏舎利塔の成り立ちだという。大阪仏舎利塔は、社会事業家の川島貞子氏がネパールで開催された第4回世界仏教会議に出席した縁で昭和38年(1963)に建てられ、さまざまな祈願のために訪れる人も多い。

縁結び



Power spot.6

四方黒池

よもぐろいけ

四方黒池は昭和20年頃までは、現在の美井地区の田畑を潤すために作られた灌がい用の溜め池として使われていた。夏になると蛍を見ることができたほか、成田山不動尊ができ街が発展していくと、住民が魚釣りや水遊びをして楽しんでいたそう。農業用の役目を終えた後は整備され、池の周りには回廊や遊具もある小さな公園も造られた。ベンチもあり水と木々に囲まれるのんびりできることから、現在はカップルの憩いの場にもなっている。

Power spot.4

菅相塚

かんそうづか(かんしょうづか)

友呂岐神社(P9)の祭神であるように、香里園と菅原道真の関係は深い。菅相塚という名前も、菅原道真が左遷され大宰府に流される際にこの場所に登って都を眺めて悲しんだという逸話や、流刑の知らせを聞いた娘の菊屋姫が父を追って淀川を一望できるこの場所に来たといった伝承に由来している。非凡な才知によって右大臣まで出世した菅原道真の悲しい運命を憂いつつ、試験の前にはこっそり合格祈願もしてみようか。

合格祈願



たどり着けばラッキー



田井の弘法井戸

【難易度★★★】

昔この土地にお坊さんが来て水を求めたが、「この村の水は金気(鉄分)が酷くて、差し上げられる水はないんですよ」と断った。憂いたお坊さんが杖を突きたてると清らかな水が湧き、人々は「あれは弘法大師に違いない」と噂し、いつからか弘法井戸と呼ばれるようになった。市内にある弘法井戸の中で最も大きいものの、見つけにくさは最高難度。



国松の弘法井戸

【難易度★★★】

江戸時代の書物『河内名所図会』に「三ツ井郡村の東、三ツ井村にあり。二ツ井は国松村にあり。一ツ井は高宮村にあり」と寝屋川市内の三ヶ所の名井が紹介されている。このうち現存しているのは二ツ井、つまり国松の井戸のみで、地域の生活用水として愛されてきた。井戸の中にある4体のお地藏さんは、健康と安全を祈願したものである。



湯屋が谷弘法井戸

【難易度★☆☆】

「ゆやがたに」とも読むが、地元の人たちは「やがたんの井戸」と呼ぶ。現在も枯れずに水がこんこんと湧き出ているので、付近の人たちが飲料水や生活用水として水を汲みにやってくる姿をよく見かける(注意: 煮沸すること!)。お米や野菜を洗う姿を見かけることもしばしば。細い道だが、道沿いに面しているため比較的に見つけやすい。

「弘法井戸」を探せ!

実は香里園の街のあちこちにある、弘法大師・空海によって掘られたとされる井戸。どれもなかなか見つけにくい場所にあるので、全部見つけ出せば良いことがあるかも。



つい立ち寄ってしまう

香南横丁

摂南大学 法学部 准教授
中沼丈晃さん



地元の人に聞く
わたしの好きな：
この道、あの場所

駅前から自転車車で大学まで通う中沼先生にとって、香里園はほぼ毎日通る街。「一つ一つの通りに、顔」があつて楽しい」とは、さすがに通つて10年になる人らしい印象だ。「遅くまで調査をして学生たちとご飯を食べにきたり、誰かと喋つたり、香里園での過ごし方はその二通りですね」と中沼先生。中でも渋い店構えが

続くこの「香南横丁」は、友人や同僚とじっくり話したいときに、自然と足が向かう場所だという。「仕事でもプライベートでも『話まってるな』と感じるときに、ゆっくり話しながら飲むことが多いですね。愚痴をこぼすこともあります。愚痴をこぼすこともすこくリラックスできて気分転換になります」。



カウンターで長居してしまうことも多いそう。

駅から少し離れたロケーションも行きたくない理由の一つだと話す。「ちよつと奥まった場所にあつて、車では通れない。行き着くと言ふか、不思議とここに落ち着いてしまふんですよね。確かに、通りがかつて細い道に提灯やネオン看板が並ぶ様子を見かけると、つい足が止まり覗き込んでしまふ。『吸い込まれるように』という中沼先生の言葉に、うなずく人も多いのではないだろうか。

なかぬま、たけあき／1971年東京生まれ。地域防犯のための政策研究を専門とし、アンケートなどで学生とともに街へ出ることも多い。市民を対象にした講演会を企画するなど、仕事においても香里園と深く関わる。

池で魚を捕つたり、木登りもよくしました

もともと香里園は郡元町あたりが一番古く、私が生まれた頃には100軒程度の住宅がありました。昔の香里園は駅の西側はすべて田んぼや畑で、東側にその田んぼを持つていた人たちが住んでいたんです。私は昭和17年（1942）生まれ。小さい頃から駅の西側でもよく遊んだなあ。今の寿町あたりには道がなく田んぼばかりで、農家の人は舟で池や川を渡つて田んぼまで行つていました。蓮池があつて、その蓮の実が甘くておやつにしてましたね。農業用のため池だったんですが、フナやナマズが卵を産んだので、たくさん魚がいた。みんなよくのこざりで捕まえました。田んぼに使う肥だめもあり、草で見えないので足を突っ込んだりしたこともありました。

成田山不動尊は小さい頃から賑わつていましたが、駅の東側にもまだ坂を上る道しかなく、バスターミナルもなかった。聖母女学院の校は満開になると空が見えないくらいで、校のトンネルが続く風景は本当にきれいでしたね。



「子供服なかつか」
中司昭夫さん

フラッシュバック
「街の語り部」の思い出…①

“1940”
田んぼばかり
だった香里園

花香る憧れの場所 香里園駅

枚方エリア駅長
江本淳一さん



やさしい香りが
する駅です

香里園は江本さんが運転士だった頃からの憧れの駅だった。惚れ込む理由を江本さんは「何といっても木々や花の美しさ」と語る。昨年開業100周年を迎えた京阪電車は、成田山不動尊に100本の桜を植林。また聖母女学院周辺は桜林だった歴史があるなど、桜に縁の深い香里園。駅の近くにもたくさんさんの桜が植わっており、「春に運転して香里園駅を通過すると、爽

やかな気持ちになるんです」。念願は叶い、昨年の夏に香里園を含む枚方エリアの駅長になった。さらに江本さんは「住民の方でも知る人は少ないと思います」が、「と知られざる見どころを紹介してくれたい。京都方面行きのホームに立派な金木犀の木があるのだが、実はこれは京阪電車の4代目社長・太田光熙氏の邸宅に植わっていたもの。金木犀はその後、一旦は別の場所に

移されたものの、昭和43年（1968）に再び香里園駅に戻ってきた。「この金木犀も秋には花を咲かせ、駅の構内に良い香りを漂わせるんですよ」と顔をほころばせる江本さん。香里園は文字通り、花香る駅なのだ。えもとじゅんいち／京阪電気鉄道枚方エリア駅長。入社以来、運転や駅での仕事を通して香里園の変化を見続けてきた。近年は駅周辺も再開発されてきており新たな姿を見せるそうだ。

新しい香里園のシンボル かほりまち

香里園駅東地区市街地再開発組合
理事長 塚中幸雄さん
副理事長 衛藤悦一さん



香里園の人は、
地域に愛着が
強いと思います

ここ数年で大きく様変わりしつつある香里園駅前。そのシンボルであるタワーマンションを核とした駅前複合施設「香里園かほりまち」の開発にあたり、住民代表としてさまざまな調整にあたったのが、塚中さん（右）と衛藤さんをはじめとする再開発組合の面々だ。
お二人はこの街を「混じりあう所」と表現する。駅の東側は成田山不動尊、西側は大型スー

パーと共に発展し「東と西で色合い、古さと新しさが同居している」とことや、地名が寝屋川市と枚方市にまたがって位置しているためだ。また、市境にあるからか「香里園の人は寝屋川市民、枚方市民というより、香里園民」という意識が強く、そのぶん地元にとっても愛着を持っていて、と塚中さんは話す。
また再開発組合では、住民待望の関西医科大学附属病院の誘致にも協力したほか、狭くて危険だった歩道も整備されることとなった。お二人が目指すのは、「改札を出たら深呼吸したくなる」「緑豊かな街づくり。3月にグランドオープンを果たし、さらなる街の賑わいを予感させる。

香里園駅東地区市街地再開発組合／2003年に前進組織である準備組合が設立され、2006年に本組合を設立し現在に至る。行政や企業だけでなく街の人も巻き込み日夜奮闘している。
私は滋賀県出身なんです。香里園には私のようによそから移り住んで来た人が多い。でもその「よそ者」が西側を発展させ、何代にも亘ってやってきた。今も商店街同士の仲が良く、防犯灯や街路灯の設置などにも協力的。地元の人にもかわいがっていただいて、これからは仲良くしていこうという思いは強いですね。

西側を発展させてきた 自負がありますよ

昭和38年（1963）に母親が香里ダイエー本通商店街にこの店を開店。あたりにはまだ店もまばらでした。その頃は、大丸木やクロガネ製作所、オンキヨーなどの工場が田園道1号線沿いにあり、店の前が通勤路だったので、そこで働く人がよく来てくれました。駅の西側は北小学校と工場しかなく、淀川の堤防がここからでも見え、またね。昭和43年にダイエーができると、駅の西側が発展していききました。4階建てで屋上には遊園地もあった。他の街からも電車に乗ってお客さんがやってきて、一気に活気が出ましたね。その頃は軒先にものを置くだけでもよく売れましたよ。



「喫茶いぶき」
高田勝司さん

フラッシュバック
「街の語り部」の思い出…②

“1960”
ダイエーが
できたあの頃

友呂岐神社 P.9

境内へと延びる階段はちょっと急勾配で長いけれど、木々に囲まれながら歩くのは気持ちがいい。



空気がきれい。

START!
香里園駅



弘法さんが掘った井戸



湯屋が谷弘法井戸 P.11

駅前から続く坂道を上っていくと、家々の間の細い道にある弘法井戸。煮沸すれば飲むこともできるため、水を汲みにやってくる近所の人も。

香里園駅

9分

湯屋が谷弘法井戸

6分

友呂岐神社

1分

聖母女学院

8分

成田山不動尊

20分

モダンな家並み

10分

香里園駅

●駅東側
歴史・文化見て歩きコース
香里園のシンボルとも言えるスポットを訪ね、歴史や文化を学ぶことのできるコース。

モデル／篠原RAKU
寝屋川市内の
学校に通う高校生。
寝屋川市発行の
リーフレットにも登場。



ワガヤネヤガワ大学おすすめ

香里園散策コース

香里園の人なら誰もが知る名所から、地元の人でも気づかなかった場所まで、ここまで紹介してきた見どころを、楽しく歩いて回れるモデルコースがこちら。

願いが
叶うかしら



START!
香里園駅



赤井堤防跡

香里北之町、香里西之町と枚方市南中振との間を東西に走る道があり、左右の住宅が一段低くなっている場所がある。かつて赤井川の堤防だった場所で、赤井川の流入を受け入れる淀川の川床が赤井堤よりも高くなったため、堤防だけが残ったのだという。写真は京阪電車の線路内にある堤防跡の表示。



瀬呂岐神社 P.9

境内奥の「寄進の鳥居」は、忠臣蔵にも登場する赤穂浪士の一人・村松喜兵衛秀直の子孫が寄進したもの。

香里園駅

10分

赤井堤防跡

10分

瀬呂岐神社

2分

森邸

15分

香里新町～ 香里ダイエー 本通商店街

2分

香里園駅

●駅西側
てくてくウォーキングコース
香里園駅から西へ、淀川の堤防付近まで。街歩きの好きな方におすすめ。



ワガヤネヤガワ大学とは…

団地の世代や熟年層の人たちの社会参加を促し、地域デビューのきっかけをつくるため、寝屋川市が2010年度に開設しました。初年度は地域学講座として市域全体の歴史や自然などについて学んだ後、香里園地域の歴史や史跡などをさらに詳しく学び、フィールドワークも行いました。講座では市内の活動団体の方や市職員が講師となり、約50名の学生が和気あいあいと学びました。

モダンな家並み

香里園の東側の住宅街には、和洋折衷のモダンなたたずまいの邸宅もある。そんな風景をのんびりと見ながら歩くのも楽しい。



GOAL!
香里園駅

香里園と言えば
成田山



お洒落な家が
多い



成田山不動尊 P.6

交通安全のお不動さんとして知られる成田山不動尊。休日になると参拝客は多い。車に乗ったままご祈祷を受けることもできる。

なんてきれいで
長〜い廊下



聖母女学院 P.8

アントニン・レーモンドによる設計の聖母女学院のキャンパス。この長い廊下はなんと約100m! 生徒たちに目が行き届くようにするための工夫だそう。※見学には事前申請が必要です。

商店街に寄り道!



香里新町〜 香里ダイエー本通商店街

香里園駅の西側にはたくさんの商店街が連なっている。買い食いできるお店もたくさんある。

GOAL!
香里園駅

買い食いも
散歩の楽しみ



こんなお家に
住めたら…

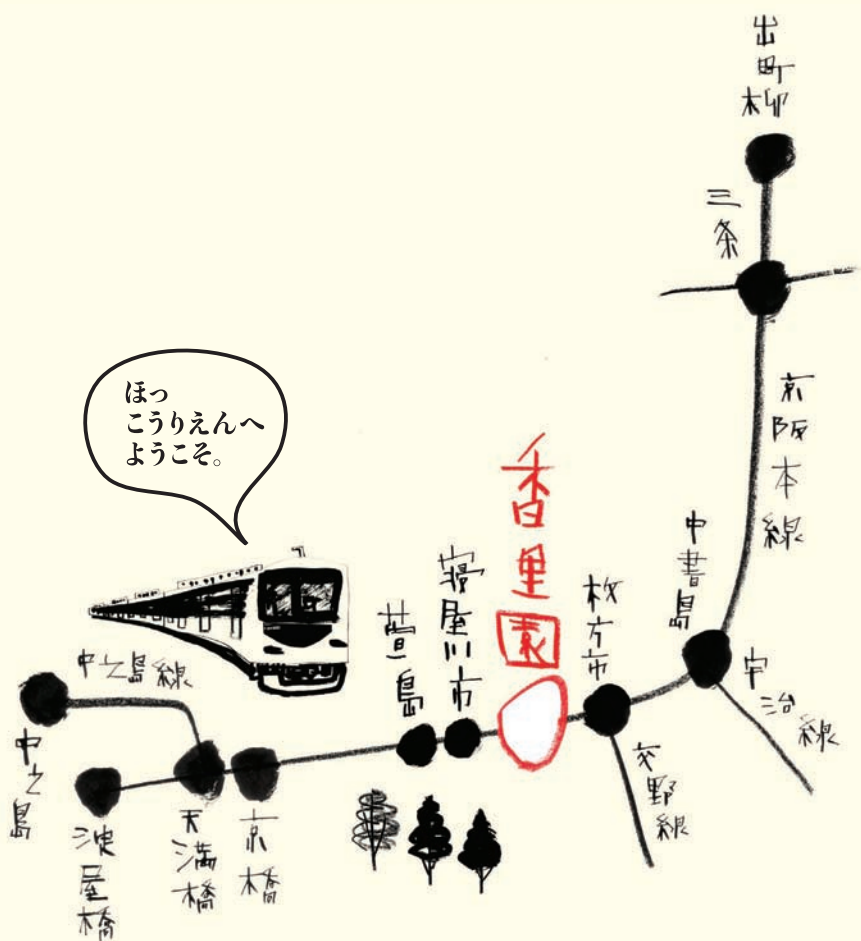


森邸 P.9

森小一氏の住宅で、築100年以上と言われる武家屋敷風の門構えは見事! 常時入れるわけではないが、イベント時などに開放される時にはぜひ訪れてほしい。



すごい門構え



発行／寝屋川市

編集／ワガヤネヤガワ・ブランド開発委員会

〒572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号

Tel.072-824-1181(代表)

企画制作／月刊島民プレス(株式会社140B)

表紙イラスト／奈路道程

デザイン／吉村麻紀

取材協力／摂南大学・大阪電気通信大学の学生たち

写真提供／香里園まちづくり委員会 「香里園界隈えとこ百景」実行委員会



ワガヤネヤガワ

 寝屋川市
NEYAGAWA CITY